

令和4年度 全国学力・学習状況調査について

(本調査は、全国悉皆調査で第6学年児童を対象に4月に実施されたもの)

1 学力調査に関する結果の概要

【国語】

- 表現の効果を考えて物語を読むことができている。
- 設問に対して文章で答える問題などの無答率が低い。
- 登場人物の相互関係について、描写を基に捉えることに課題がある。

【算数】

- 被乗数に空位のある整数の乗法の計算をすることができている。
- 数量が変わっても割合は変わらないことを理解することができている。
- 表の意味を理解し、全体と部分の関係に着目して、ある項目に当たる数を求めることに課題が見られる。
- 加法と乗法の混合したポイント数の求め方を解釈し、ほかの場合のポイント数の求め方と答えを記述することに課題が見られる。

【理科】

- 日光は直進するという性質を理解することができている。
- 実験器具の名前や正しい取り扱い方の理解に課題が見られる。

2 児童（生徒）質問紙に関する結果の概要

- 目標や学習の計画を自分で立て、最後まで取り組もうとする意識が高い。
- 地域の行事に参加したり、地域の大人に悩みを相談したりすることができている。
- 1日あたりテレビゲーム（携帯電話・スマートフォンのゲームを含む）を2時間以上する児童の割合が全国平均より約20%多い。ルールを決めてメディアに接することに課題がある。

3 取組についての評価

(1) 教科に関する取組

① 効果があった取組

- ・国語を中心とした朝タイムの取り組み及び継続的な指導の実施
- ・少人数指導、分割指導による指導体制

② 今後の学力向上に向けた取組

- ・基礎基本の定着を身に付けさせるための時間の設定と実施の徹底
- ・朝タイムの取り組み内容の見直し及び実施の徹底。
- ・前期1回、後期2回の全校一斉チェックテスト(計算領域)の結果をもとにした授業改善

(2) 児童（生徒）質問紙の内容に関する取組

① 効果があった取組

- ・「ゆめかなえノート」（前小版鍛ほめメソッド）の取組
- ・生活科、総合的な学習の時間などのGTの活用と地域に働きかけるカリキュラム編成

② 今後の学力向上に向けた取組

- ・宿題とゆめかなえ学習（前小版自主学习）を連携させた自己教育力の育成。
- ・学習したことと日常生活をつなげる授業づくり。